

より正確な定量のための ウェスタンブロッティングセミナー

ウェスタンブロッティングは、ライフサイエンス研究において汎用的に用いられておりますが、昨今ではデータの信頼性を担保するために抗体の特異性や、感度、そして定量性が求められるようになってきました。一方、検出では検出感度の高さから化学発光法を用いた方法が一般的ですが、定量直線性やダイナミックレンジ、複数ターゲットの検出が難しいなどの、正確なデータを得るための課題が残されています。本セミナーでは、これからウェスタンブロッティングを始める方はもちろん、蛍光による複数ターゲットの検出を考えている方にも聞いていただけるような内容となっております。

日頃、ウェスタンブロッティングを用いた実験を行っている研究者の皆様は是非ご参加いただきますようお願い申し上げます。

日時：2019年 9月 5日(木) 13:30～15:00(予定)

場所：鳥取大学

(本会場)米子キャンパス 研究支援棟B 2階 セミナー室
米子市西町86番地

(LAN中継)湖山キャンパス VBL棟 1階 セミナー室(講義のみ)
鳥取市湖山町南4丁目101番地

講師：バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社 池田 充 氏

内容：《講義》13:30 ～ 14:30

現状化学発光を含めたウェスタンブロッティングの定量をよりきれいに
上げるためのポイント

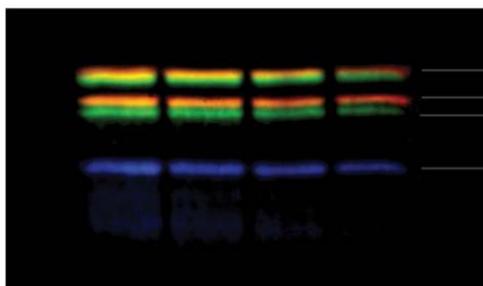
《実習》14:30 ～ 15:00

蛍光ウェスタンブロッティングのメリット

—より高い定量性・複数ターゲットの同一メンブレンでの解析等—

定員：15名(各会場)

参加費：無料



Merged target proteins
#1 and #2
Target protein #1: Phospho-ERK
Target protein #2: ERK1/2
Anti-GAPDH hFAB
Rhodamine Antibody



蛍光検出法を用いたリン酸化タンパク質同時検出例

【申込】メールまたはFAX 8月30日(金) 必着

希望会場、氏名・所属・職名(学年)・連絡先(メール及び電話)を記載したFAXまたはメールをご記入の上お申し込みください。

送信先：鳥取大学研究推進機構 (電話 0859-38-7523:電話はお問い合わせのみ)

FAX:(0859)38-6470 E-mail:desp@ml.adm.tottori-u.ac.jp

主催：鳥取大学研究推進機構研究戦略室・研究基盤センター
とっとりイノベーションファシリティネットワーク(TIFNet)

鳥取大学研究推進機構 技術講習会(TIFNet) FAX 申込用紙
「ウェスタンブロッティングセミナー」

申込期限:2019年8月30日(金)

会場	【希望会場】 1. 米子会場 2. 鳥取会場(LAN 中継)	
機関名・ 企業名		
連絡先	電話番号	
	メールアドレス	
お名前		

質問事項(任意)

ご提供いただいた個人情報は、参加者の事前把握および今後の支援活動の企画立案に利用いたします。

また、次回以降のセミナー等のお知らせにも利用させていただくことがありますが、お申し出があれば中止いたします。

○ FAXで申し込む

この用紙を記入しFAXでお送り下さい。

FAX:(0859)38-6470

○ メールで申し込む

機関名・企業名、お名前、ご連絡先(電話、メールアドレス)をご記載の上、下記メールアドレスにお送りください。

メールアドレス:desp@ml.adm.tottori-u.ac.jp

FAX
送信方向

TIFNet 窓口(鳥取大学研究推進機構)

FAX:0859-38-6470